

自ら動く  
自ら創る



ワークショップ詳細は、裏表紙へ

### 地域活動とコラボ

表紙写真は、2月11日に「県立米原高等学校生徒会」の皆さんと議会で実施した「すみたいまちをつくる」ワークショップ成果報告会の様子です。

報告会は、昨年の9月と11月に実施したワークショップの結果をまとめるもので、この日は、米原高校生徒会の皆さんから11人のご参加をいただきました。

まず、米原高校の1・2年生全員を対象としたアンケート結果などに基づき、3つの政策をきめ、その政策を実現するために必要な事項を議員と生徒の皆さんと一緒に意見を出し合い、まとめた内容を発表しました。

今回のワークショップは、議員にとって、年齢が離れた若い人たちの考えを聞く貴重な機会となりました。

### 附帯決議

昨年度に引き続き「再度」申し入れ

近江鉄道関連の負担金執行に当たっては、法定協議会に対し、担保を求め、後世に悔いを残さないよう対応されたい

(詳しくは、9ページへ)

可決

### 新年度予算 修正案を

公平性、平等性の観点から

「伊吹高校生通学支援金」を削除

(詳しくは、9ページへ)

可決



新年度予算

脱炭素先行地域づくり事業補助金等  
5年度の一般会計予算

総額約222億円

過去2番目の規模

(前年度比約13億円増)

(詳しくは、8ページへ)

### まちのリアル(現実)をあなたと共有 人口変動カウンター

71号発行月  
1月37,761人

72号発行月  
4月37,593人

3か月  
間で

168人

down

減少

# でわかる! ハイライト

“我がまちのために！”私は執行部に  
ここが聞きたい 代表質問&一般質問

録画配信

代表質問  
①③



一般質問  
①⑦



一般質問  
⑧⑩



## 代表質問

1 5年度一般会計の予算編成

天翔クラブ 鏑田明

◀ P12

2 市の推進するデジタルトランスフォーメーションとは何か  
政策研究会マイバラ 山本克巳

◀ P13

3 すべての人々がどの地域でも  
幸せに暮らせるまちづくり  
日本共産党米原市議団 山脇正孝

◀ P14

## 一般質問

1 コロナ禍における地域活動  
コロナ禍でのいじめの状況  
中川松雄

◀ P15

2 自治体DXの進め方  
子育ての支援策  
細野正行

◀ P16

3 環境こだわり農業・  
環境保全型農業の推進  
吉田周一郎

◀ P17

4 産前・出産・産後の支援

振角大祐

◀ P18

5 市国保の現状と県国保運営方針  
マイナンバーカード保険証の是非  
藤田正雄

◀ P19

6 河川内の草木・雑草の除去対策  
本市の少子化対策

鹿取和幸

◀ P20

7 鴨の里盆梅展の運営  
水道広域化プラン等広域連携

矢野邦昭

◀ P21

8 新型コロナウイルス感染症  
5類への引き下げ  
山口久志

◀ P22

9 デジタル地域コミュニティ通貨  
「ビワコ」の普及

中川雅史

◀ P23

10 電力の安定購入

礪谷晃

◀ P24

令和5年第1回定例会の会期は2月22日から3月23日までの30日間

精神障害者に対する医療費助成制度の改善を求める請願を採択

滋賀県知事に意見書を提出することについて総員賛成で

可決

米原市議会の個人情報保護に関する条例の制定 総員賛成で

可決

国民健康保険税を値上げする条例改正について 賛成多数で

可決

忙しいあなたへ

# ほぼ5分 3月定例会

## 年間予算(当初予算)を審議

脱炭素事業補助金、私立保育施設整備支援、醒井水の宿駅解体工事など

大型事業費を含めた5年度の一般会計当初予算は、

総額約222億円(前年度比約13億円増)

過去2番目の予算規模 ↓ 修正を行い

### 修正議決

「伊吹高校生通学支援金」180万円を削除し

### 附帯決議

昨年度に引き続き「再度」申し入れることを

◎近江鉄道関連の負担金執行に当たっては、法定協議会に対し、

担保を求め、後世に悔いを残さないよう対応されたい

◀ 詳細は、P8・9(予算)、P10(総産建)へ

¥ 議会が可決した主な補正予算

小中学校施設維持補修事業 約4億6千万円増額

認定こども園等送迎用バス安全装置設置 約230万円追加

福祉、体育施設等、光熱費高騰に伴い 約1200万円増額

醒井水の宿駅指定管理取り消し損失補償 約410万円追加

電力小売事業者撤退について約170万円で和解する議案を賛成多数で  
本年10月1日から、18歳までの医療費を無料化する議案 総員賛成で

可決

▶ P11

公正な職務執行と組織的・統一的対応のため「不当要求行為等対策条例」制定

公務への信頼確保のため「職員の倫理の保持に関する条例」制定、各議案を総員賛成で

可決

## 1. 討論の対象議案

### ○議案第8号 令和5年度米原市国民健康保険事業特別会計予算

県が示した標準保険料率と現行税率の乖離幅<sup>かいり</sup>を基金で調整し、保険料水準統一に向けた調整期において被保険者に合理的な根拠を示し得る伸びとなるよう税率を引き上げる。

### ○議案第22号 米原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

5年度国民健康保険事業費納付金および標準保険料率が県から示されたため、国民健康保険事業費納付金に要する費用等に充てるため、国保税率等の改定を行う。

## 2. 委員会の採決

【議案第8号】予算常任委員会で原案のとおり可決することについて

**賛成11人 × 反対2人 賛成多数で可決すべきものと確認**

※予算常任委員会は、当日1人の欠席者あり

【議案第22号】健康福祉教育常任委員会で原案のとおり可決することについて

**賛成7人 × 反対0人 総員賛成で可決すべきものと確認**

## 3. 本会議の討論

### 【議案第8号】

今回の国民健康保険(国保)特別会計予算の内容は、県内保険料統一化のため、5年度は6.5%引き上げ、その後もおおむね均等な伸び率で12年度まで段階的に引き上げるというシミュレーションに基づくものだが、多くの国保世帯は、これ以上の負担に耐えられない状況にあることは明らかである。消費税を導入する時、政府は、その歳入をすべて社会保障に使うと説明してきた。しかしながら、現実、その歳入は法人税の減税や所得税減税の財源となり、社会保障制度は悪くなるばかりだ。

今回の国保税の引き上げを前提とした国保特別会計予算は許されない。ますます年金生活者や無職者、フリーターなど経済的弱者に大きな負担を強いるものであるため、反対する。

### 【議案第22号】

市長は以前の山脇議員の質問に対して、国保税の均等割は人頭税のようなものであると答弁された。また、昨年度から国保税の18歳以下の均等割分を一般会計から還付する経済支援措置を行い、来年度も継続するとされている。しかし均等割の課題は、本来、国保、国保税の問題として改善すべきである。市独自で、均等割分について国保税を引き下げ、その金額を一般会計から国保特別会計に繰り入れるべきである。以上の理由から反対する。

反対

藤田 正雄 議員

賛成者と反対者の一覧はP7

## 4. 本会議の採決

【議案第8号】 原案のとおり可決することについて

**賛成12人 × 反対2人 賛成多数で可決**

【議案第22号】 原案のとおり可決することについて

**賛成12人 × 反対2人 賛成多数で可決**

県内市町との保険料水準統一に向け、

国民健康保険料を値上げする

議案を賛成多数で



健康福祉教育常任委員会 行政視察研修

先進地の事例を市政に生かす

多様な主体の連携のもとで

### 一人一人を大切に、誰一人取り残さない教育の在り方

1月16日に広島県庁で同県における不登校児童・生徒の支援施策の視察を行いました。同県では、教育支援センターとしてSCHOOL“S”を設置し、県内の不登校の小中学生を支援するため認定特定非営利活動法人カタリバと連携協力し、児童生徒の個々の状況に合わせた学びを支援されています。また、不登校児童生徒を対象にした校内フリースクールであるスペシャルサポートルーム（SSR）が公立小学校に設置されています。本市でも教育支援センター「みのり」による支援、フリースクール利用児童生徒支援補助事業などを行っておりますが、改めて多様な主体が連携して取り組んでいくことの重要性を認識しました。

17日には広島県福山市にて、全国の公立小学校で初のイエナプラン教育校（一人一人を尊重しながら自律と共生を学ぶ教育。異年齢集団を基本単位とした教育などが特徴）である福山市立常石ともに学園を視察した後、同市内の特定非営利活動法人学習支援ヴァパウスにて、平等な学習機会の提供や青少年育成の在り方に関する理解を深めました。



福山市立常石ともに学園の視察

県市議会議員研修会  
定例議員研修会

いかに自治体の課題として提起するか

### ひとびとの暮らしの現場が、わがまちの課題の現場

1月20日に行われた研修会では、「自治体議会に求められる成果を考える～市民、議会改革、地方制度調査会の議論をふまえて～」と題して、法政大学法学部教授の土山 希美枝氏から、議会に求められていること、議会と自治をめぐる議論の潮流などについて講演をいただきました。

長浜・米原市議会  
連絡協議会  
研修

地域は今は正念場

### 議会に期待されることも変わってきている

2月6日、長浜・米原市議会議員連絡協議会において、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村 健氏による「市長と議会との関係～市長マニフェストは絶対なのか～」と題した研修会を実施しました。

今回の研修は、二代表制における議会と執行機関の関係などについて、総合計画などの具体的資料を用いて進められ、議会に期待されることの変化への研究を深め、これからの地域づくりについて視野を広げる機会になりました。



研修の様子

議会デジタル化  
広聴推進委員会

詳しい内容は、表紙と裏表紙へ

### 米原高校生徒会の皆さんとまちの未来について考えました

2月11日の県立米原高等学校生徒会の皆さんとのワークショップ成果報告会に向けて、1月30日に、当日の流れ、手法などについて、最終検討を行いました。また、実施後の2月15日には、当日の振り返りおよび論点の整理を行うとともに、今後の展開などについて協議を行いました。なお、当日の様子は表紙に、これまでの取り組みは裏表紙にまとめています。

## 第1回定例会 議決結果一覧

### ●全員賛成で原案可決・同意・採択とした案件

議案審査を付託された常任委員会

【総産建】総務産業建設 【健福教】健康福祉教育 【予算】予算

| 番号                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 件名 | 付託先   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|
| 発議第 1 号 米原市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について<br>決議第 1 号 議案第7号 令和5年度米原市一般会計予算に対する附帯決議案<br>同意第 1 号 米原市公平委員会委員の選任について<br>同意第 2 号 米原市固定資産評価審査委員会委員の選任について<br>同意第 3 号 米原市固定資産評価審査委員会委員の選任について<br>同意第 4 号 米原市教育委員会委員の任命について                                                                                                                                                 |    |       |
| 議案第 2 号 令和4年度米原市一般会計補正予算（第 11 号）<br>議案第 3 号 令和4年度米原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）<br>議案第 4 号 令和4年度米原市介護保険事業特別会計補正予算（第5号）<br>議案第 5 号 令和4年度米原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）<br>議案第 6 号 令和4年度米原市駐車場事業特別会計補正予算（第 1 号）<br>議案第 9 号 令和5年度米原市介護保険事業特別会計予算<br>議案第10号 令和5年度米原市後期高齢者医療事業特別会計予算<br>議案第11号 令和5年度米原市駐車場事業特別会計予算<br>議案第12号 令和5年度米原市水道事業会計予算<br>議案第13号 令和5年度米原市下水道事業会計予算 |    | 【予算】  |
| 議案第14号 米原市交通指導員条例の廃止について<br>議案第15号 米原市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について<br>議案第16号 米原市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について<br>議案第17号 米原市不当要求行為等対策条例の制定について<br>議案第18号 米原市職員の倫理の保持に関する条例の制定について<br>議案第19号 米原市付属機関設置条例の一部を改正する条例について<br>議案第20号 米原市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について<br>議案第21号 米原市税条例の一部を改正する条例について                                                                        |    | 【総産建】 |
| 議案第23号 米原市長期継続契約に関する条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |    | 【総産建】 |
| 議案第24号 米原市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について<br>議案第25号 米原市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について<br>議案第26号 米原市国民健康保険条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                                                                                                              |    | 【健福教】 |
| 議案第27号 米原市県営土地改良事業分担金徴収条例および米原市営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例について<br>議案第28号 米原市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                                                                                                                                            |    | 【総産建】 |
| 議案第29号 令和4年度米原市一般会計補正予算（第 12 号）<br>議案第30号 令和5年度米原市一般会計補正予算（第 1 号）<br>議案第31号 令和5年度米原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）                                                                                                                                                                                                                                                 |    | 【予算】  |
| 議案第32号 米原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について<br>議案第33号 米原市介護保険条例の一部を改正する条例について                                                                                                                                                                                                                                                                                         |    | 【健福教】 |
| 請願第 1 号 精神障害者に対する医療費助成制度の改善を求める請願書<br>意見書第1号 精神障がい者に対する医療費助成制度の改善を求める意見書案                                                                                                                                                                                                                                                                                   |    | 【健福教】 |

●賛否が分かれた案件

※賛成者は「○」反対者は「×」議長は採決に加わりません。※議案第7号修正案については、可否同数となり議長裁決により可決されました。

| 議 案                               | 付託先 | 討 論 | 結 果 | 天翔クラブ |     |      |     |     |     |     | 政策研究会<br>マイバラ |     |     |     | 日本共産党<br>米原市議団 |     | 無会派 |     |
|-----------------------------------|-----|-----|-----|-------|-----|------|-----|-----|-----|-----|---------------|-----|-----|-----|----------------|-----|-----|-----|
|                                   |     |     |     | 山 口   | 磯 谷 | 今 中  | 鹿 取 | 矢 野 | 中川松 | 鐺 田 | 中川雅           | 堀 江 | 山 本 | 吉 田 | 藤 田            | 山 脇 | 振 角 | 細 野 |
| 議案第7号 令和5年度米原市一般会計予算に対する修正案       |     | 0   | 可決  | ○     | ○   | 議長裁決 | ○   | ○   | ○   | ○   | ×             | ×   | ×   | ×   | ×              | ×   | ×   | ○   |
| 議案第7号 令和5年度米原市一般会計予算（修正部分を除く原案）   |     | 0   | 可決  | ○     | ○   |      | ○   | ○   | ○   | ○   | ○             | ○   | ○   | ○   | ○              | ○   | ○   | ○   |
| 議案第8号 令和5年度米原市国民健康保険事業特別会計予算      | 予算  | 1   | 可決  | ○     | ○   |      | ○   | ○   | ○   | ○   | ○             | ○   | ○   | ○   | ×              | ×   | ○   | ○   |
| 議案第22号 米原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | 健福教 | 1   | 可決  | ○     | ○   |      | ○   | ○   | ○   | ○   | ○             | ○   | ○   | ○   | ×              | ×   | ○   | ○   |
| 議案第34号 和解することについて                 | 総産建 | 0   | 可決  | ○     | ○   |      | ○   | ○   | ○   | ×   | ○             | ○   | ○   | ○   | ○              | ○   | ○   | ○   |

忙しいあなたへ

ほぼ2分でわかる!

1月臨時会 ハイライト

1月23日に令和5年第1回臨時会が開催されました。  
この臨時会は、出産・子育て応援交付金などの一般会計補正予算を審議するために緊急に開催しました。採決の結果は次のとおりです。

¥ 議会が可決した主な補正予算

令和4年4月以降の出産に対する10万円相当の経済的支援実施のため約3900万円を追加  
新型コロナウイルス感染・濃厚接触者へ、無給の休暇取得・休業に対する支援金、400万円を増額  
ふるさと納税寄附金の歳入増にともなう事業経費を約9200万円増額

議決結果一覧 ●第1回臨時会

| 件名                           | 付託先     | 議決結果    |
|------------------------------|---------|---------|
| 議案第1号 令和4年度米原市一般会計補正予算（第10号） | 予算常任委員会 | 総員賛成で可決 |

議員辞職のお知らせ

令和5年1月23日付で、後藤英樹議員（天翔クラブ）が一身上の都合で辞職されました。  
現在の議員数は15人です（定数は、16人）。  
また、次のとおり、議会の体制に変更がありました。

- 【議会運営委員会 委員長】 後藤 英樹 ⇒ 磯谷 晃  
【米原駅東口駅前開発特別委員会 委員】 後藤 英樹 ⇒ 磯谷 晃  
【長浜水道企業団議会議員】 後藤 英樹 ⇒ 山脇 正孝



# 予算常任委員会報告

5 年度一般会計・特別会計・公営企業会計当初予算・4 年度補正予算等を審査

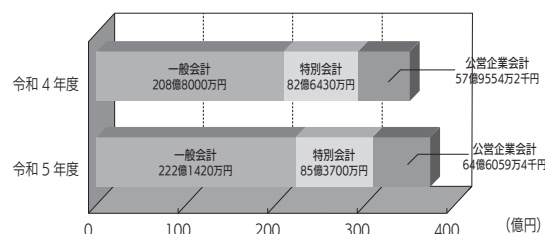
## 予算審査って何だろう？

予算常任委員会 山本克巳 委員長

15人の議員が2つの分科会に別れ、予算内容つまり米原市のお金の使い道を細かくチェックします。その後、予算常任委員会で各分科会長からの報告を聞き、もう一度議員全員で話し合い、賛成か反対かを決めます。

そして定例会最終日の本会議にて、電子採決により賛成か反対かを多数決で決定します。

米原市全体の予算規模



その分科会とは？ 議論の争点は？ 報告内容は？

### 総務産業建設分科会

- 米原市消防団の再編
- 近江長岡駅の駐車場
- びわ湖放送への出資金
- 移住者の農地取得
- 会計年度任用職員の採用人数

その他

### 健康福祉教育分科会

- 開業医誘致等地域医療振興事業
- 国民健康保険の子育て世帯応援金
- 18歳までの医療費無料化
- おむつの処分を園で行うこと
- 後期高齢者医療事業

その他

予算常任委員会の内容について

## 本会議で審査結果を報告

主な審査経過と議論の争点は以下のとおりでした。



#### ■総務産業建設分科会

- ・市民部の伊吹高校生通学支援金180万円について、多くの質問が出ました。  
⇒他の高校に通う生徒もいるので公平性に欠けるのでは？
- ・近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会負担金、近江鉄道線管理機構負担金について。  
⇒上下分離方式と聞いていたが、実際は車両や駅舎管理も含むのか？

#### ■健康福祉教育分科会

- ・米原市後期高齢者医療事業特別会計予算について。  
⇒高齢者医療について、米原市として何らかの助成措置はないのか？
- ・くらし支援部こども未来局の子どもの貧困対策事業について。  
⇒地域のさまざまな場ではなく、学校現場での貧困把握に特化しているように見えるが、その理由は？

#### ■最終日追加議案(議案第29号から議案第31号)については

- ・ワクチン接種コールセンターの委託料について。  
⇒3960万円はいかにも高額だが、どのような委託内容か？

# 採決の結果

議案第7号、令和5年度米原市一般会計予算に対して  
1 件の **修正動議** と 1 件の **附帯決議案** が出されました。

\*\*\* かんたん解説 \*\*\*



## ☆修正動議とは

議会に提出される原案の内容の修正・変更を求める趣旨の動議。

## ☆附帯決議案とは

委員会で議案を可決する際に意思を表明するために行う決議のことで法的拘束力はありません。

## 今回の＜修正動議＞の詳細説明

執行部提出予算では「鉄道を利用して近江長岡駅から県立伊吹高等学校へ通学する生徒に対し、路線バス・乗合タクシーの共通通学定期券の購入費用を支援する経費」が提案されていました。説明では、同制度を提案するに至った主たる理由として、県立伊吹高等学校の生徒数が減少している中、同校の存続を守るために、近江長岡駅から公共交通を利用して通学する生徒に対し、高校からの要望もあり、支援を行うというものでした。

これに対して委員会では、「この助成制度では、同校に通学する生徒のうち、市内在住以外の生徒が助成対象の大多数を占めるということ」、次に、「市内在住でほかの高校に通学する生徒には同様の助成制度はないこと」、さらには、「多様な通学手段がある中で、助成の対象を近江長岡駅からの公共交通手段に限定していること」、また、「助成割合について、市の負担割合を全額としていること」などを論点として負担金補助及び交付金中、「伊吹高校生通学支援金」180万円の減額修正を求めたもの。

## 今回の＜附帯決議案＞の詳細説明

5年度米原市一般会計予算には、「近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会負担金」800万8千円と「近江鉄道線管理機構負担金」164万3千円が計上されています。

この再生協議会とは、いわゆる法定協議会（輸送に係る関係者が協議する仕組み）のことであり、管理機構とは、県および沿線市町の11団体で構成される第3種鉄道事業者（線路を他事業者にもっぱら使用させる事業者等）を指します。

これに対して議会では1年前の令和4年第1回定例会において、「法定協議会負担金の予算執行に当たっては担保を求めよ」などとする附帯決議を可決しました。しかしながら令和4年3月29日に開催された法定協議会では、上下分離方式を逸脱した、鉄道車両を含む全資産を譲渡の対象とする検討結果が示されるなど、十分な協議がなされていないのではないかという懸念があります。

さらに、同社は、令和3年12月27日と令和4年2月7日に脱線事故を起こし、国の運輸安全委員会からも適切な整備がなされていなかったことを指摘されており、鉄道施設の老朽化によって、今後のさらなる費用負担までも予見されるところです。

よって委員会としては5年度の法定協議会等への負担金の執行に当たっては、法定協議会に対し、様々な観点からの担保を求め、透明、公正な協議を促し、本市を含め、地域にとって後世に悔いを残さないよう対応されることを再度申し入れたもの。

なお、議案第8号については賛成多数で、その他の議案においては総員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

## 報告します！

### 総務産業建設常任委員会

予算常任委員会 総務産業建設分科会

委員長・分科会長 矢野 邦昭

副委員長・副分科会長 細野 正行

委員 藤田 正雄、今中力松、堀江 二三

吉田 周一郎、鰐田 明

## 消防団の再編について

### 一般会計予算

### ◎消防団の再編について

**問** 消防団員のなり手の確保が厳しい状況であるが、定員の確保策はあるのか。また、団地など、消防団がない地区はどのようにするのか。

さらに再編計画のスケジュールが遅れているが、今後の対応方針は。

**答** 定数については、常備消防と非常備消防の役割分担を行いつつ、地元とも協議していきませんが、大幅な減員の

方向です。消防団がない地区は、幾つかの地域、自治会を包括した

形での班編制を行い、団地の皆さんにも近隣の班に所属されるように、お願いをしていきます。

再編スケジュールは、5年度中に方針を定め、6年度に体制をつくり、7年度から実施していきます。

### ◎伊吹高校生通学支援金について

**問** 駅と高校を結ぶ地域公共交通の強化事業という趣旨については、

**答** 伊吹高校は開設時、1学年6クラスありま

したが、現在、3年生は4クラス、1・2年生が3クラスに減っています。

駅から高校までの距離が遠いため、通学には公共交通が重要です。

バスは1時間に1本で、まいちゃん号は1時間に2本あります。合わせて1時間に3本の公共交通を無料共通

定期券で使うことができれば、交通不安がなくなり、高校の魅力も高まります。また、併せて近江長岡駅の鉄道促進にもつながります。

なお、現在の伊吹高校通学生による近江長岡駅の利用者は、柏原・米原駅からの利用者が各2名、彦根方面から12名で、合計16名が利

用されています。

**問** 自転車等で伊吹方面などからバスを使わず通っている生徒もいる中、この施策が人口減少の防止につながるのか疑問である。

また、同様の支援を求められたら対応できるのか。他市の生徒に補助金を出すことは是非はどうなのか。

**答** まいちゃん号については、高校生に年額8千円分のタクシー助成券を無償で渡し、保護者の送迎負担を軽減する仕組みがあります。また今回の事業を一つの試みとし、公共交通としてふさわしい支援の仕方を考えていきたいと思っています。

市外の生徒にも補助を行うことで、高校の魅力をも十分に発揮できる環境をととのえ、地域の高校を応援するということを趣旨としています。

### ◎農地取得について

**問** 農業をやりたい移住者について、農地を借りたり、取得したりすることにハードルがある。新たな政策が取られるのか。

**答** 国の法改正により、今年の4月1日から農地を取得する場合、面積要件が廃止されます。本市では、地域ごとに20㍓から40㍓という面積を設定してきましたが、今度の農業委員会総会で、廃止について諮る予定です。面積要件を撤廃すること、農地取得がしやすくなります。

### 討論・採決結果

以上、慎重審査の結果、付託を受けた議案のうち、5年度一般会計予算は、賛成多数で可決するものと確認し、そのほかの議案は、総員賛成により可決すべきものと決しました。



消防訓練(朝日八幡神社にて)

## 報告します！

### 健康福祉教育常任委員会

予算常任委員会 健康福祉教育分科会

委員長・分科会長 山脇 正孝

副委員長・副分科会長 鹿取 和幸

委員 振角 大祐、山口 久志、磯谷 晃

中川 雅史、中川 松雄、山本 克巳

### 開業医の数が少ないところへ、

### 医療機関の誘致を進めていきたい

#### 一般会計予算

いう思いで取り組みたいと考えています。

**問** 医療が不足している地域に開業医を誘致するのならわかるが、市全域を一つの地域として誘致事業を進めるのはいかがなものか。

**答** 人口が比較的多くない地域で開院を希望されるような場合には、地域に医療の安心を創っていきたいので来ていただけないかという売り込みをします。

また、市有地等で活用できるものがないかも含めて提案し、医院の数が少ない地域へ誘致を進めていきたいと

子どものおむつを見て健康状態を判断する人もいる。例えば、おむつを確認して、この子ちよっと体調が悪いなと把握したとき、保護者への引き継ぎを滞りなくできるのか。

**答** 特に乳児の場合は、送り迎えの際に保護者に対して体調を丁寧に伝えていきます。また健康上、おむつの中身などに問題がなかった場合についても、夕方には保護者宛に、例えば排便は何回でしたというような情報が行くようなシステムを導入しています。

**問** 18歳までの医療費無料化について、なぜ一度に3歳分を引き上げたのか。1歳ずつ引き上げ、3年後に18歳までとする方法もあるが、実施方法について検討したのか。

**答** 18歳までの医療費無料化については、全国的な動向等を確認し

たところ、約半分の自治体が18歳までの助成をされていることから、本市も18歳までという形にしました。

**問** 国民健康保険の子育て世帯応援金について、なぜ国民健康保険特別会計ではなく、一般会計から支出するのか。

**答** 国民健康保険（国保）特別会計では、市独自、地方独自の制度は実施できないという見解が国で示されています。そのため、県と協議を重ねる中で、国保特別会計上の制度ではなく、一般会計上で国保制度とは切り離れた形での制度化が必要ということになりました。

#### 特別会計予算

**問** 後期高齢者医療制度について、高齢者世帯に対して何らかの軽減措置が講じられていない。何らかの助成措置を講

じるということを執行部で議論したことはあるか。

**答** 後期高齢者医療制度は、県全域で実施している制度ですので、市単独での助成は、検討していません。

**問** 後期高齢者医療制度について、被保険者の2割負担が導入されたが、その割合はどうか。

**答** 2割負担の人は1207人で、全体の約19%の人が該当します。3割負担の人は185人で、全体の2・9%です。

#### 一般会計補正予算

**問** ワクチン接種のコールセンターの委託料が3960万円となっているが、高額過ぎるのではないか。どのような委託内容か。

**答** ワクチン接種に関する問い合わせの回答、予約受付、接種券再発行の手続きに関する業

務を委託します。

#### 討論・採決結果

以上、慎重審査の結果、付託を受けた議案のうち、一般会計および特別会計予算、一般会計および特別会計補正予算を総員賛成で可決するものと確認し、条例関係の各議案もすべて総員賛成で可決すべきものと決しました。請願第1号 精神障害者に対する医療費助成制度の改善を求める請願書は、総員賛成で採択すべきものと決しました。



# 会派代表者質問

録画配信  
はこちら

## 5年度的一般会計

### 予算編成について問う

天翔クラブ 鰐田 明 議員

#### 5年度一般会計の 予算編成について

**問** 経常収支比率が95%と高いが増えた原因は。

**答** 電気代や燃料費など、物価高騰の影響に伴う経常一般財源を充当する経費の増加により、上昇することを見込んでいます。

**問** 今後の財政運営に支障は出ないのか。

**答** 新規事業や事業拡充を行うための財源確保が厳しい状況になるため、効率的な財政運営を図る必要があります。

**問** 4年度の決算審査の対応について、予算に反映させたのか。

**答** 副市長指示事項としてまとめ、庁内周知

を図りました。社会福祉協議会の運営費補助金の見直しや高齢者工

アコン設置事業補助金の要件緩和等、5年度予算に反映させました。

#### 人口減少対策について

**問** 人口減少対策には、継続し、切れ目のない支援が必要である。政

府は4月から「こども家庭庁」を設置し異次元の少子化対策に取り組もうとしている。それを見極めて、市ならではの施策を打つべきであると思うが。

**答** 年々子どもの人数が減少している状況は、まさに「待ったなし」です。今、子育て、子育てに困っている市民の皆さんの不安を解消するため、国に先駆け

不安をいち早く、スピード感をもって対策に

当たることが求められています。国の少子化対策の議論に呼応しながらも、地域によって課題に違いがあること

も実態としてあり、市民のために、基礎的自治体だからこそできることを大胆に進めたいと思います。

**問** 子ども本人に向き合い、子育て支援や産み育てる望みをかなえる環境とは。

**答** 長引くコロナ禍や、不安定な世界情勢、物価高騰などの影響により、貧困や格差が世代を超えて連鎖しています。子どもたち一人一人に等しく与えられるはずの権利は、親や保護者の義務と責任に頼っている、もはや保証されないという現実が立ちはだかっています。何ともしようがない、生きづらさは、子どもたちの未来の可能性を

奪います。

市では子どもたち本人にしっかりと向き合い子育てを応援するため、5年度から18歳までの医療費無料化や、子育て支援策の所得制限の撤廃など独自の支援を検討しています。

その結果として、子どもを産み育てるという望みを、いつでも、誰もが安心して持ち、かなえることのできる「地域社会全体で子育てを支援するまち」へと転換したいと考えています。

#### 獣害対策について

**問** 被害状況と駆除の実績は。

**答** 3年度の被害状況は、ニホンシカ23万6千円、イノシシ49万7千円、ニホンザル68万9千円、ハクビシン・アライグマ13万9千円です。

4年度の駆除の実績は、令和5年1月末現

在、ニホンシカ989頭、イノシシ65頭、ニホンザル40頭、ハクビシン・アライグマ25頭です。

**問** 伊吹山、霊仙山のシカによる被害への早急な対応は。

**答** 伊吹山では27基の箱ワナ、囲いワナを設置し年間130頭を捕獲、そのうち3年度では、銃器で14頭を捕獲しました。

また、5年度は、土砂の流出や斜面崩壊防止のため、試験的に植生復元を行います。

なお、霊仙山には、16基の箱ワナ、囲いワナを設置し、年間約90頭捕獲しています。

#### 人権問題について

**問** 部落差別の解消の推進に関する法律に対する理解と取り組みは。

**答** この法律は、部落差別は許されないとする認識のもと、国、地方公共団体の責務を明

らかにし、差別のない社会の実現を図るうえで大きな原動力になるものと理解しています。今後も米原市人権施策基本方針に基づき、あらゆる差別の撲滅に取り組んでいきます。

**問** 法律による第4条相談体制、第5条教育及び啓発、第6条実態調査等への取り組みは。

**答** 人権相談や教育・啓発活動を行っており、同和問題や部落差別の解消に取り組んでいます。そして、国や県の人権に関する調査結果なども参考にしながら、市民意識調査の結果も踏まえて、人権施策基本方針の見直しを進めていきます。また、インターネット上の差別書き込みなどの調査や対策も行っています。



啓発物品の一例

## 会派代表者質問

録画配信  
はこちら



米原市の推進するデジタルトランス

フォーメーションとは何か

政策研究会マイバラ 山本克巳 議員

DX化をどのように  
進めるか

問 マイナンバーカードの登録だけが目的ではないはずだ。今後どのように進めていき、どのような効果があるのか。

答 「米原市デジタルトランスフォーメーション推進方針」に基づき、「市役所に行かなければできなかった手続きが、どこからでもでき、デジタルを最大限活用する自治体運営への変革」を目指し、本年度から取り組みを開始しました。デジタル化の基盤となるマイナンバーカードのさらなる普及促進、子育てや介護などの手続きをはじめとした市役所業

近江長岡駅の  
エレベーター設置の  
進捗状況は

務の66の行政手続きにおいて、オンラインで手続きができるよう、システムの見直しを含めた業務改善を進めています。

問 J R東海との協議経過と今後の設置完了までのスケジュールは。

答 J R東海が費用の3分の1を負担することと合わせ、市が事業主体となって整備し、市の財産として維持管理していくことを条件に、バリアフリー化が実現する運びで、エレベーター2基、スロープ1カ所を整備する予定です。現在は、5年度に詳細な実施設計を

行うため、J R東海と協定の締結に向けた調整を行っています。

今後の予定は、5年度中に実施設計を終え、6年度から工事に着手し、9年度中には工事を完了する予定です。

伊吹・山東地域の駐在所の再編について

問 米原警察署は、伊吹と山東の駐在所（黒田・大原・伊吹・柏原）を統廃合して、現在の黒田駐在所を新たに24時間態勢の交番とすることに決定した。今後市内の防犯体制はどう変わるのか。

答 駐在所は警察官が居住していますが、1人の配置で朝から夕方までの勤務です。これに対し、交番は24時間態勢の交代勤務で、複数の警察官が配属されます。より迅速、的確な対応が図れ、昼夜を問わずパトロールや緊急出動が可能となりま

エコビレッジ構想の  
進捗状況について

問 事業用地の候補である柏原東北部の耕作放棄地の土地所有者に対して、説明が遅かったのではないか。すでに複数の企業が太陽光発電の用地取得のため周辺の土地の買収に動いている。

答 土地所有者に混乱を招いているが、柏原地先での本事業については、令和4年8月と9月に柏原自治会の役員会で説明を行いました。また、事業候補地のうち、市道に接する土地の所有者から順次、戸別訪問を行い、本事業の説明等を行っています。さらに、令和5年2月25日には、午前と午後の2回に分けて、土地所有者を対象とした説明会を開催予定です。なお、来る3月7日、9日、

10日には、個別に相談いただけるよう柏原生涯学習センターにおいて相談会を行い、土地所有者のご理解をいただきます。

忠魂碑の撤去する部分とその費用負担は

問 高さのある主柱は地震などの際に倒壊の危険性がある。しかしながら、撤去費用は主柱の部分だけが市の負担で、残りの部分は管理する団体が負担しなければならぬのは本当か。その費用の捻出は管理団体にとつてたやすいことではない。市内12カ所を3年計画でということには、無理があると思うが。

答 市としても一定の責任を果



主柱だけを撤去して残った部分はどうする？

たしていきたいと考えています。市遺族会からも、今後の忠魂碑の解体撤去や維持管理等に心配する声をいただいております。一つの団体だけに大きな負担がかかることのないよう関係する自治会や土地の所有者の意向などを踏まえ、相談させていただきます。

また、市内12カ所の忠魂碑を全て解体することになれば、1年におおむね4カ所を3カ年かけて解体撤去する予算を確保したいと考えています。

## 会派代表者質問

録画配信  
はこちら



人口減少時代において、すべての人々がどの地域でも幸せに暮らせるまちづくりを問う

日本共産党米原市議員 山脇 正孝 議員

### 人口減少時代のまちづくりと子ども施策

**問** 子ども・若者施策と同時に、人口減少を見通したまちづくり、

まちの縮小に適合する施策も考えておく必要があると考えるが。

**答** 本市では子育てしやすいまちづくりを進め、生産年齢人口の維持と出生率向上を目指したいと考えています。

一方、日本全体の人口減少が急速に進んでおり、人口減少を見据えた持続可能なまちづくりが必要であると認識しています。

地域での拠点づくりや、地域公共交通の継続、利便性向上へつなげるための計画策定などを進め、住み慣れた地域で、誰

もが安心して暮らし続けることができる、持続可能な都市経営を念頭に取り組みを進めていきます。

**問** 令和4年第4回（12月）定例会で、国

に対して学校給食無償化を求める意見書が可決・送付された。市も人口減少に立ち向かう大事な子ども施策として、国や県に対し、学校給食の無償化への財政支援を強く要望してほしいが、どうか。

**答** 学校給食の無償化に向けた財政支援の国や県への要望は、本市が単独で行うものではなく、県内市町や全国の自治体が連携すべきものと考えます。そのため、令和4年第4回定例会において採択さ

れたことも踏まえ、まずは提案内容を滋賀県都市教育委員会連絡協議会に紹介し、他市の意見を伺っていきたいと考えています。

### 人口減少地域でくらし農業を守るまちづくり

**問** 中山間地域集落の維持可能な方向性は。

**答** 例えば、過疎化への危機意識が高く、新たな人材や移住者の受け入れに前向きであった甲津原地域では、定住者が少しずつ増え、Uターン世帯や子育て世代の移住により、10歳以下の子どもの数は平成21年はゼロでしたが、令和元年には12人に増え、成果も見えてきました。

中山間地域対策の方向性には、ご指摘のとおり、くらしを支え、地域の活力を生み、仕事を生み出すことが必要です。今後も地域を

牽引する人材の確保と、地域資源の活用に取り組み、小規模な山村集落であっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう施策を進めていきます。

**問** 今後、集落営農を維持していくためには、関係者などが話し合い、新しい仕組みを考えていく必要があるが、どうか。

**答** 集落営農は、水田農業の重要な担い手であり、さらには、農村風景の維持や国土保全の役割も担ってきた重要な組織です。今後は、市、県、農業委員会、関係団体が連携し、集落内外からの多様な人材となる後継者の確保や育成、周辺の集落営農との広域的な連携等の取り組みについて、地域とともに検討していきます。

### 外国籍市民が安心して住める多文化共生のまちづくり

**問** 日本語教室参加者に対する交通手段の確保について問う。

**答** 日本に住む外国籍市民にとって、日本語習得は「言葉の壁」をなくすために大変重要なことであると認識しています。

ご指摘の受講者の送迎については、受講者のお住まいの状況や希望などを考慮し、開催場所や開催回数など、より受講しやすい環境となるよう、市多文化共生協会と調整を行っていきます。

**問** 外国籍市民が医療受診時に利用できる通訳システムの検討について問う。

**答** 医療機関を個人が利用する場合の通訳については、市内の医療機関へ聞き取りを行ったところ、医療の現場

で通訳できる職員が対応されている場合や、受診者の知人や職場の人の付き添いなど、さまざまな方法で意思疎通を図っておられます。

医療通訳には、専門性を要する場合もありますので、外国籍市民が受診される際の医療機関や受診者のニーズ、課題などを確認しながら、本市における適切な医療支援の在り方について、研究していきます。

**問** 外国籍市民が働く企業への就労等の実態把握について問う。

**答** 就労等の実態把握については、市多文化共生協会にも労働契約等の相談が寄せられています。協会を通じてニーズや課題などの実態把握に努めるとともに、市内事業所を対象とした訪問活動の中で、外国人労働者の就労実態に関する調査の実施を検討していきます。



中川 松雄 議員

## ○コロナ禍における社会生活、 環境の変化に伴う地域活動について

### ○コロナ禍でのいじめの状況について

自治会、地域での行事、イベントに対する市の対応について

**問** コロナ禍における自治会、地域での行事、イベントへの市としての対応は。

**答** 自治会へ県が示す感染防止策やチェックリストを配布し、ウィズコロナに対応した自治会活動をお願いしています。5年度は、自治会パートナーシップ交付金事業にコミュニティイベントの実施項目を追加し、地域での行事等再開への支援を考えています。

**問** 地域創造支援事業の活用状況は。

**答** コロナ禍や補助制度の見直しの影響もあり、応募も実施される事業も減少傾向にありますが、そういった中でも、各団体は、国、県

の指針や市の事業の実施状況を参考に、感染防止対策を講じながら活動されています。

令和5年3月13日から、マスク着用は個人の判断が基本となり、5月8日からは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類も5類に位置付けられます。地域や市民の活動が進むよう、各団体へ情報提供を行い、さまざまな相談に対応するなど支援してまいります。

#### 「コロナ禍でのいじめの状況について」

**問** いじめへの対応者は。

**答** 全ての教職員が子どもの異変を捉え、いじめの早期発見に努めるとともに、サポートにも子どもの様子を見てもらい、情報共有を行っています。いじ

めが疑われる場合には、校内いじめ対策委員会で対応を検討し、個々の事案に応じた指導、支援を行うため組織的に対応しています。必要に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに助言を求め、場合によっては、警察等の関係機関や県の教育委員会と連携することもあります。教育委員会としては、学校からいじめの報告を受けた際、指導助言を行い、いじめ等対応支援員が各学校を訪問し、情報共有や指導助言を行っています。

**問** 中学生のネットにおける誹謗中傷は。

**答** ネットの誹謗中傷は、本人や保護者、本人以外の生徒の訴えで把握することが大半です。行為を止めること

を最優先に、被害生徒の安全安心を確保するよう指導を行い、内容によっては警察と連携することもあります。保護者には、家庭訪問や電話連絡等連携を密にして協力を求めます。また未然防止の取り組みとして、生徒を中心とした主体的ないじめ防止の取り組みや道徳教育、特別活動によるいじめの理解を深める学びの推進、学校行事

や日常活動を通して、いじめを許さない集団づくりに取り組んでいます。一例として、「いじめバスターズ宣言」、「いじめ防止5カ条」、「SNS宣言」等があり、いじめ防止に向けた生徒全体の自主的な取り組みを積極的に行っています。学校の指導に加え、警察や民間団体が主催するネットに関する防犯教室も実施しています。

### いじめゼロ宣言発表

|                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>3-A 五箇条の御誓文</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. いじめゼロ 命を救う 第一歩</li> <li>2. 男女の壁 こわして作る 人の輪を</li> <li>3. 発言を 積極的に 自分から</li> <li>4. お互いに 優しい言葉を かけあおう</li> <li>5. 米中の からかいなくし 幸せに</li> </ol> | <p><b>3-B</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 相手を思いやる発言をする これを親切心と言う。</li> <li>2. 間違え「ドンマイ」正解拍手 責めず 怒らず 反駁おこそう。</li> <li>2. Bigで Beautifulな心をもって Brightな 3Bにしよう。</li> </ol> |
| <p><b>2-A</b></p> <p>「優しさ」に 満ちあふれたら・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の心に思いをはせる</li> <li>・互いに分かり合う</li> <li>・言葉の重みを理解する</li> <li>・人の心を傷つける「1つの言葉」</li> <li>・人の心を癒す「1つの言葉」</li> </ul>            | <p><b>2-B</b></p> <p>我々はジャスティス（正義）生徒の 生徒による 生徒のための いじめZERO</p>                                                                                                                            |
| <p><b>1-A</b></p> <p>人の心は十人十色 笑顔あふれる 居場所作りを</p>                                                                                                                                                                | <p><b>1-B</b></p> <p>親しき仲にも礼儀あり やめる勇気 とめる勇気 みとめる勇気 はなす勇気</p>                                                                                                                              |

いじめゼロ宣言(米原中学校)



録画配信  
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



録画配信  
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



細野 正行 議員

## ○自治体DXをどのように進めて行くのか

## ○子育ての支援策について

## ○道の駅「近江母の郷」トイレについて

### なぜ自治体にDXが必要なのか

**問** 市民の利便性や行政サービス向上のため、マイナンバーカード活用や行政手続きの重要項目を掲げているが進んでいるのか。

**答** 米原新時代デジタルトランスフォーメーション推進本部を設置し、全庁横断で取り組んでいます。また、本年度から、外部専門業者による提案および技術支援を受けており、国が示す重点取り組み項目の整備のほか、行政手続きのオンライン化など、行政事務の効率化、市民サービスの向上に取り組んでいます。

行政サービスの推進のみではなく、市民を守るため、スマホ講座を広げる必要性があるのでは。

**答** スマホ講座は、初心者向けにデジタル化の利便性を実感していただくことを目的として、少人数制の4種類の講座を実施しています。2年間を経て講座内容の見直しを検討し、市民同士の学びあいの展開にも期待したいと考えています。

**問** 深見市や北見市では書かない窓口を始めており、住所や名前を何度も書く必要がない。本市のシステムは。

**答** 地方公共団体情報システム機構の「らくらく窓口証明書交付サービス」を導入します。コンビニ設置の端末と同じ操作感で、お待たせすることなく、交付

作業を行えます。

### 児童手当について

**問** 進学するにつれ、必要な物が増えて生活が厳しいと、多くの人が嘆いておられる。児童手当は、18歳までの拡充や所得制限の撤廃を目指すべきでは。

**答** 市では、子育てにかかる費用の一部を補い、子どもの育ちを支援するため、中学校3年生修了まで児童手当を支給しています。

なお、ご指摘の18歳までの対象年齢拡充や

所得制限撤廃は、国での議論を注視していきます。

**問** 高校や幼保の無償化が進んでいるが、0歳から2歳児は支援が薄い空白地帯だ。県内の子育てをリードする本市は、0歳から2歳児の幼保無償化・所得制限撤廃が必要では。

**答** 0歳から2歳までの住民税非課税世帯の保育料は、国の制度により無償化されています。

また、独自施策として、第2子以降の保育



### トイレの整備は、進んでいるのか

**問** 道の駅「近江母の郷」トイレの改修は進んでいるのか。

**答** 同施設は、県所有の施設です。5年度に便器の洋式化など利便性の向上を図る改修工事を行う予定であると確認しています。



吉田 周一郎 議員

## ○本市の環境基本計画における環境こだわり農業・環境保全型農業(特に水稻栽培)の推進について

### ○旧常喜医院の整備および

### 今後の利活用の方針について

環境こだわり農業について

**問** 環境基本計画における環境こだわり農業の位置付けは。

**答** 行政が取り組む施策の一つとして、環境こだわり農業を推進するとしています。

**問** 県内の水稻栽培面積に対する環境こだわり栽培面積は約44%で、本市でその比率は約12%と低い。環境こだわり栽培面積の減少傾向の要因は何か。

**答** 3年度の取り組み面積は約167畧で、元年度と比較すると約21畧、割合は1割減少しています。通常の栽



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

培と比べて収量や品質が不安定な場合があることや、農薬の制限により草刈り等の作業手間が増えるため、高齢化する生産者の負担になっ

ていていること等が減少要因の一つです。販売においては、一般の水稻と同程度の価格であることも減少要因の一つです。

**問** 市は栽培面積を増やすための対策を考えているか。

**答** 肥料代等の割り増し経費を補助しています。農業生産活動の勉強会を行い、環境こだわり水稻に関する認知度の向上や、農薬と化学肥料の低減について生産者の理解を促していきます。

**問** 普及拡大のために、市の積極的なかわりが必要と考えるが、農政商工課で所管

する会議の場や、市の公式ウェブサイトを活用して、広く環境こだわり農業を広報していきます。

**問** 普及拡大を図るために、環境保全型農業直接支払い交付金の上乗せは。

**答** 交付金の制度上、交付単価や負担割合が国により決められており、独自の上乗せは難しいと考えます。

### 旧常喜医院の整備および利活用について

**問** 文化財としての価値や評価は。

**答** 江戸時代から地域の医療を支えてきた医院の屋敷構えが残る価値ある文化財として、国の登録有形文化財に指定されました。

**問** 改修・整備の方針は。



旧常喜医院(2023年3月撮影)

**答** 建物は耐震基準を満たさない箇所の耐震補強や損傷箇所の修復工事等を行います。庭園整備は和風庭園として、建物と同時に整備を行います。

**問** 公開方法や他の施設との連携は。

**答** 本市に訪れた人々のおもてなしの場、あるいは市民や来訪者の交流の場として利用できると検討します。

各施設をめぐる探訪ルートの設定やマップ等を作成し、情報発信に努めます。

**問** 管理運営の方法は。当面、管理は市で行い、常時開館ではなく市の事業での活用を基本とします。地域の利用や予約による見学、市内の小中学校の校外学習などの活用を考えています。今後、この施設に合った望ましい管理運営方法の在り方を検討します。

**問** 季節に見合ったイベントや催事が見込まれるが、盆梅展の開催は。

**答** 季節・四季に応じた催事が展開できると感触を得ています。盆梅展については、庭園のロケーションにマッチして、施設の価値や魅力がさらに高まることから、地域の愛好家の皆さんに相談し、幅広い活用の場となるよう検討していきます。

## ○産前・出産・産後の支援について



振角 大祐 議員



録画配信  
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

市にとって「切れ目のない支援」とは

**問** 市にとって、『切れ目のない支援』とは。

**答** 母子健康手帳の交付時に、保健師や管理栄養士による面接で妊娠されている人の状態を把握し、必要などきに、産科医療機関と連携して支援を行っています。

また、新生児訪問、乳幼児健診、7カ月児離乳食教室、育児相談などの事業を通して、継続支援を実施しています。

なお、乳幼児健診は、3歳半までの期間に5回実施するものですが、3年度を受診率はいずれも96%以上であり、未受診の人には訪問や面接を実施しています。また、これらの母子保健事業の結果、さら

なる継続支援が必要となった、延べ189人に対し、およそ270

回の訪問指導を実施し、必要に応じて、子育て世代包括支援センターの保育士や発達支援センターなどの関係機関と連携し、就園・就学後も見据えた支援を実施しています。

**問** 市における産前ケアの現状は。

**答** 産前の妊婦には、まず、妊娠届時アンケートを活用し、妊娠中や出産後のリスクアセスメントを行い、必要な人に保健指導や栄養指導などの専門的な個別支援を実施するほか、希望される人には個別相談を実施しています。併せて、本年度、新たに子育て応援ガイド別冊として、助産師配置施設を紹介する冊子を作成し、出産準備に

役立つ情報提供を行っています。



**問** 市における出産施設の現状は。

**答** 医師不足や少子高齢化などから、湖北・湖東圏域において産科医療機関が減少している昨今、本市に分娩施設はありません。

ただ、分娩施設ではありませんが、産婦人科医療施設が2カ所、助産所が1カ所、市内で開設されています。



**問** 市における産後ケアを行う施設の現状は。

**答** 産後ケア事業は、県産後ケア事業実施施設基準を満たしている、近隣市に所在する4施設へ委託して実施しています。市内には、現時点では、県産後ケア事業実施登録施設はありません。



安心して子どもを生み育てられるまち

**問** 「安心して子どもを生み育てられるまち」へ。

**答** 出産期を取り巻く環境について、市内に分娩施設や産後ケア事業実施施設がないなど、

医療的資源の地域的偏在は課題です。一方で、産婦人科医療施設や助産所が開設されるなど、新しい命の誕生への支援として、大きく寄与いただいています。

本年2月に開始した出産・子育て応援事業は、「こうしたプロセス・連携をさらに強化するもの」として取り組むものです。子育て世帯、支援者、地域社会、そして行政などがそれぞれの役割を果たし、子育て世帯が地域社会の中で安心して子育てができるまちづくりを進めていきたいと考えています。





藤田 正雄 議員

## ○市国保の現状と県国保運営方針

## ○マイナンバーカードを保険証とすることの是非

## ○オンライン診療・巡回診療の可能性

市の国保税、引上げのシミュレーション

問 その認識は。

答 5年度の税率は、

県による剰余金の活用と合わせて、本市で基金を活用することで引き上げ幅を抑制しつつ、段階的に引き上げを行いたいと考えています。

県内保険料の統一を進めることは必要か

問 県全体の統一化は必要か。

答 保険給付は共通ですが、保険料は市町間で異なるため、不公平感もあり、県全体の統一化が必要と認識しています。

第3期においては県の激変緩和措置は

問 県が財政支出すべきと考えるが。

答 県には、5年度に

策定予定の第3期運営方針に向けては、激変緩和を実施する予定は無い旨、確認しています。

本市としては、可能な限り標準保険料率に激変が生じないように、要望していきます。

県でも「子ども均等割」の検討が掲げられたが

問 検討結果は。

答 国の基準を超えて独自に一律の保険料軽減を条例で定めることはできないとされているため、市独自で18歳以下の子どもに係る均等割負担をなくすため、国保子育て世帯応援金を交付しています。

マイナンバーカードへの保険証紐づけ

問 現状は。

答 本市の国民健康保

険の保険証利用登録者数は、令和5年1月15日現在で3314人であり、全被保険者数の47・13%です。

問 市内医療機関でマイナンバーカードを使用する割合は。

答 令和5年2月12日現在では、医科が7施設、歯科が5施設、薬局が7施設の計19施設で、割合については41・3%です。

マイナンバーカードのパスワードの管理

問 忘れた場合は。

答 医療機関設置の顔認証付きカードリーダーにマイナンバーカードをかざし、顔認証で利用できます。パスワードを忘れた場合は、本庁舎などの窓口で、再設定できます。

問 紛失の場合の診察や悪用は。

答 パスワードを知らなければ利用できません。さらに、カードに付帯するICチップの情報無理やり読み込もうとすれば、チップが自動的に壊れる仕組みとなっているため、悪用することはできません。なお、マイナンバーカードの再発行は、通常、約1カ月程度の期間を要しますが、国で短縮の検討が行われています。

オンライン診療・巡回診療の可能性

問 オンライン診療の可能性は。

答 国の規制改革実施計画では、オンライン診療指針の見直しや公民館等の身近な場所での受診の必要性が指摘されており、オンライン診療の受診が可能な場所や条件、課題を整理・検討し結論を示すとされています。

長野県伊那市のモバイルクリニック事業  
医師の乗らない診療車  
(出典：長野県伊那市公式ウェブサイト)



患者さんの自宅付近



車両内にてオンライン診療



ステップが車いすリフトで乗車



医師指示の元問診・診察



医師との円滑なコミュニケーション



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

## ○河川内の草木・雑草の除去対策

## ○本市の少子化対策について



鹿取 和幸 議員

### 河川内の草木・雑草の除去対策

問 草木・雑草等の除去状況は。

答 1級河川の草木の繁茂状況は、毎年の自治会要望で把握し、河川管理者の県に対し浚渫等を要望しています。県では、パトロールや通報により河川管理上支障となるような竹木の状況は把握しています。一方、雑草は竹



天野川の状況(令和5年2月撮影)

しかし、自治会からは、住民の高齢化で河川愛護活動が継続困難との意見もありますので、自治会や地域住民からの声を聴き、今後の河川管理の在り方を県と

木に比べ治水への影響が低く、広大な河川区域で、日々状況が変わる繁茂状況を全て把握することは困難と聞いています。

問 美しい河川にするための市の取り組みは。

答 河川管理者の県から委託を受け、川を美しく保ち、清らかな水の流れと緑のある水辺の景観保全のため、自治会等に河川愛護活動を実施していただいています。

協議検討します。ただし、環境美化を目的に広大な河川区域全てを除草することは非常に困難であると考えています。

問 美しい河川にするための市の取り組みは。

答 河川管理者の県から委託を受け、川を美しく保ち、清らかな水の流れと緑のある水辺の景観保全のため、自治会等に河川愛護活動を実施していただいています。

### 本市の少子化対策

問 本市の少子化対策の課題は何か。

答 少子化の要因は多岐にわたり、価値観の多様化、就労環境の変化、経済的理由などさまざまな要因が複合的に重なり合い、簡単に

その糸口が見いだせないところに、この問題の深刻さがあると考えています。

令和3年の全国の出生数は、およそ81万人と過去最少を更新したとのことで、少子化の流れは加速しています。

本市の出生数も、全体として減少傾向です。

少子化は、「待ったなしの課題」と考えており、市民の理解を得ながら、地域社会全体で子育てを応援する施策への転換を図り、安心して子どもを産み育てられるまちとして選ばれる環境づくりに、取り組んでいく必要があると考えています。

問 本市の少子化対策のポイントは。

答 子育てしやすいまちを目指して、出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで、切れ目のない支援を展開してきました。

5年度は、中学生までとっていた入院費を含む医療費無料化の対象年齢を拡大し、18歳までを無料とするほか、中学校生活を支援する制度と、定住促進を目的とした給付型奨学金制度の所得制限の撤廃などを検討しています。

社会全体で子育てを支援する環境をととのえ、まちの成長につながるDX戦略や観光、移住定住施策などの分野にも力を入れながら、包括的に対策を講じていきます。

### 河川浚渫とは

河川環境の保全と疎通能力の回復のために、河道内の土砂や樹木等を除去・伐採すること。



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



矢野 邦昭 議員

## ○鴨の里盆梅展の運営について

## ○水道広域化プラン等広域連携について

### 鴨の里盆梅展の運営について



写真1 鴨の里盆梅展

問 昭和57年、堀田克己会長を中心に、「花の香る豊かなまちづくり」を目指して盆梅愛好会が発足し、山東公民館を会場に盆梅展が開催されてきました。会員が盆梅の研修研究を重ね、慶雲館からの出展要望にも応えてこられた。先日愛知県愛西市からバスで来られた人たちが、長浜よりいいねと褒めて帰られたと聞いている（写真1）。この鴨の里盆



写真2 長浜盆梅展

梅展入場者は、平成13年度には5万5千人だったが、現在では8千人を割り込んでいる。その要因は…。以前のようにバス観光を呼び込む努力も必要ではないのか。

長浜の盆梅展は、ニユース性や話題性の高い企画をされており、近年は著名な米原市の切り絵作家とのコラボが観光客をひきつけている。今年は大きなこいにウサギの切り絵が見事だった（写真2）。本市にも、伊吹高校の書道パフォーマンス、

大橋丈夫氏の光の芸術があるではないか。なぜ鑑賞に終わり、呼び込む企画ができなかったのか。

答 指定管理者で、琴の演奏やお茶席、おもと展の同時開催など努力されてきました。入場者数の減少傾向は、全国的な観光のトレンドや観光客の盆梅に対するニーズの変化が影響していると考えています。

問 運営事業者から、盆梅展の運営主体を終えたいとの話が出ている。市は、盆梅展開催を運営権授与の際の条件に入れなかったのか。

答 運営権事業は、運営事業者がサービス内容を考える制度であることから、個別の事業を規定することはしていません。契約後、運営事業者から提出され

た事業計画には、盆梅展の開催が記載されています。

問 10年間の事業計画で提案されてきた盆梅展は継続させるべきではないのか。

答 制度上、計画変更や提案に対する協議には柔軟に感じ、判断します。盆梅展の運営主体を続けていただくかどうかは、今後、検討します。

問 春の風物詩である盆梅展は、観光振興、地域の活性化にとって重要な資源であり、市が継続していくべきだが、対応策は。

答 運営事業者からは、会場の用意など可能な範囲での協力をする旨を聞いており、どのような形で開催し継続が可能か、市、運営事業者、盆梅愛好会の皆さまなど、関係者とも協

議しながら、対応を検討していきます。

### 水道広域化プラン等広域連携について

問 隣接する長浜水道企業団と浄水場の相互利用、職員の体制の確保など、早期に広域連携の検討に着手すべきではないのか。

答 長浜水道企業団とは、すでに、災害時の応急給水など連携を図っています。広域化推進プランに記載された「ゆるやかな広域連携」の取り組みについて、連携を図ることは望ましいと考えています。



録画配信  
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

## ○新型コロナウイルス感染症の

## 5類への引き下げについて

## ○中学校の運動部活動の地域移行について



山口 久志 議員

### 5類引き下げについて

問 新型コロナウイルスの区分が、5類に引き下がることについて、本市は今後どのような準備をしていくのか。

答 今後5類に引き下がることにより、内容に変更が生じることから国や県の動向を注視して、市民の皆さまへ適切な情報が提供できるように準備していきたいと思います。

問 5類引き下げ以降、マスク着用は個人の判断が基本となります。市役

所内における今後のマスク着用について、来庁者および職員の対応について伺う。また現在、窓口に設置しているパーティションについて、取り外す予定があるか。

答 感染症法上の位置付けの変更に関わらず、予防接種法に基づいて引き続き自己負担なく受けられるようにするとの政府方針が示されたことから、来年度も自己負担なく接種いただけるものと考えています。

問 3月13日から「マスク着用は個人の判断が基本」となる。市役

所内における今後のマスク着用について、来庁者および職員の対応について伺う。また現在、窓口に設置しているパーティションについて、取り外す予定があるか。

答 来庁者のマスク着用は個人の主体的な判断によるものとしていきたいと考えています。職員のマスク着用については会話をしない場合を除き、重症化リスクの高い人への対応や感染拡大により業務継続に支障がないようにする必要があることから、引き続きマスク着用をしていきたいと考えています。パーティションの間、引き続き使用していきたいと考えています。

問 文部科学省より小中学校の卒業式にお

るマスクの取り扱いに関する基本的な考え方が示されたが当市はどのような対応をするのか。

答 市内小中学校の卒業式は、文部科学省からの通知に基づいて執り行います。子どもたちの心に残る感動的な卒業式の実施に努めていきます。

問 黙食の対象となっている子どもたちについて、5月8日以降どう対応するのか。

答 5類引き下げに伴い、感染状況に応じて、本来の楽しい給食の時間になるよう対応していきたいと考えています。

問 マスク着用の対象としている子どもたちについての対応はどうか。

答 市内認定こども園・保育所等においては

3月13日から、市内小中学校においては4月1日からマスク着用は求めないことを基本とします。

### 運動部活動の地域移行について

問 中学校の運動部活動の地域移行について今後の方針を伺う。

答 米原市らしい部活動の在り方検討を進め、6年度中を目途に方針等を策定したいと考えています。

問 休日には部活動の指導を望む教職員の今後について伺う。

答 兼職兼業の許可を得て指導を行えるようにするなど、十分に考慮しながら対応していきたいと考えています。



録画配信はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問



中川 雅史 議員

## ○みんなのコイン、 デジタル地域コミュニティ通貨「ビワコ」の普及 ○ウェルビーイングな暮らしの向上

### デジタル地域通貨 「ビワコ」の普及

問 「ビワコ」の認知度は。

答 県が昨年7月から開始し、利用者は約4600人、内8割が県民です。やりとりできるお店や企業などのスポットは県内326カ所です。

問 普及活動は。

答 県ではウェブサイトや交流サイト（SNS）、新聞雑誌等の各種メディアへ掲載、加

盟企業とも連携し、普及に取り組みられています。

問 県や近隣市町との協力は。

答 市民の利用登録やお店等の加盟スポット登録は随時可能です。県は4年度に県内3市町をモデル地域として、エリアコーディネート者を配置し、登録スポット開拓や体験内容のアドバイス等の普及活動をされています。モデル地域の長浜市との湖北一体での取り組み



「ビワコ」は、地元の魅力を再発見し、訪れる人と地域を繋げるデジタル通貨です。

はありません。

問 「ビワコ」の活用に向け今後の展開は。

答 県では、デジタル技術を活用し、地域での新たなつながりや地域コミュニティの活性化等を目指すとしています。地域での助け合いやありがとうなどの気持ちを可視化できる、デジタルを活用した新しい取り組みであり、今後の普及活動等を注視しながら市として判断していきます。

### ウェルビーイングの 向上

問 ウェルビーイングについて、市の見解は。

答 1946年、世界保健機関設立時の憲章で定義されました。人の幸福、健康、福祉など幅広い点で心も身体も社会的にも満たされた「幸せを実感」できる

ている状態と認識しています。

問 幸福度の調査は実施しているか。

答 市民意識調査で各施策の満足度は把握していますが、市民の幸福度の調査は実施していません。

問 福祉にウェルビーイングの視点を取り込むことは。

答 まいばら福祉のまちづくり計画では、地域で一人一人がさまざまな人や社会とつながり、自分らしく生活することができる地域共生社会の実現を目指しており、ウェルビーイングが目指す幸せの実感と類似しています。福祉における幸せの実感、人と人とのつながりを通じて醸成されるものと考え、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、

参加し共生する地域社会づくりを推進していきます。

問 福祉以外の政策や働き方への取り組みは。

答 本市の総合計画では、まちの将来像を「ともにつながり」ともに創る「住みよさ実感米原市」としています。市民一人一人に「住みよさ実感」していただくことはウェルビーイングの「幸せの実感」に包含されるものと捉え、同じ方向を目指す大切なものと考えます。今後は総合計画にある6つの基本目標に基づく施策をしっかりと展開することで「住みよさ実感 米原市」を目指します。



録画配信  
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

## ○電力の安定購入について



磯谷 晃 議員

### 損害賠償請求 について

問 令和4年第3回定

例会で、訴えの提起議案が可決された。(株)ウエスト電力を相手方とし、公共施設8力所への電力供給契約不履行による損害賠償の請求に関する内容で、議決日から5カ月たつたが、その後の経過は。

答 (株)ウエスト電力の事情で、契約の履行が不可能と判断し、令

| 電 気 料 金 |      |      |
|---------|------|------|
| 自 由 料 金 |      | 規制料金 |
| 企業向け    | 家庭向け | 家庭向け |

### 電気料金の仕組みとは

自由料金は、電力会社が自由に決められる電気料金のこと。燃料費の高騰や下落により価格が変動しやすい特徴がある(オール電化は自由料金。ご注意！)。参入企業が多いため競争も厳しく、採算がとれない企業も発生している。規制料金は、価格変更に国の認可が必要で、大手電力会社が提供している。

和4年4月末で契約を解除したため、契約ごとの電力供給を受けられなくなりました。その後、関西電力送配電(株)から、最終保障契約により割高の電力の供給を受けたため、その差額分を損害賠償額として相手方に求めるものです。

訴えの提起までに違約金の支払いがあり、残る損害賠償金の協議を行ってきましたが、和解金額と市が被った損害賠償額には相当の



録画配信  
はこちら

ここが知りたい

聞きたいQ&A 一般質問

開きがあり、訴えの提起の議決をいただきました。

議決後も訴訟の準備と並行し交渉を続け

ましたが、和解金額は、他自治体と同じで、今後も上積みはできないとの主張を崩さないため、和解を受けるには至りませんでした。

そのため顧問弁護士と協議を重ね、準備書面等がととのう3月上旬に訴訟提起を行う予定です。

### 相手企業の 資金力の状況を 把握しているのか

問 野洲市は、電力供給に

関し本市同様の契約不履行があった(株)ウエスト電力と、違約金を含む損害賠償金2300万円を支払うことで和解したと新聞報道があった。

訴訟に耐えうる資金力があるかなど、相手方の体力状況をどのように分析しているのか。

答 和解申し出時に提示された財務状況の資料によれば、令和4年8月末現在で約7億4千万円の債務超過状態です。さらに相手方の

親会社は、子会社の電力小売業からの撤退による訴訟や和解等により見込まれる損失について、電力事業撤退損失を計上しています。

### 訴訟、和解と 自治体間で分かれる 対応について

問 本件を巡っては、訴訟、和解と自治体間で対応が分かれている。損害賠償の訴えを議会が議決したから、請求額満額を勝ち取らなければならぬというのは誤りで、何がベスト

かということを中心すべきだ。また、現時点で訴訟を提起できておらず、対応が遅いと言わざるを得ない。

相手方の会社更生法適用など、最悪の事態も想定されるが今後の対応は。

答 相手方と和解金額の交渉を行ってきたが、市の主張は聞き入れられませんでした。本訴訟は、相手方の契約不履行により発生した損害に対し、契約内容に基づき責任の所在と賠償を求めるものであり、協議では合意に至らなかったことから、司法の判断を仰ぎたいと考えています。

今後については顧問弁護士や議員の皆さまにも相談しながら、慎重に対応していきたいと考えています。

## 議会の動き

### 1月

- 10日 議会だより編集委員会
- 12日 行政視察受入(群馬県高崎市)
- 16日 健康福祉教育常任委員会 行政視察
- 17日 健康福祉教育常任委員会 行政視察
- 18日 委員会協議会(2常任委員会)
- 19日 議会運営委員会、第5回県市議会議長会研究会
- 20日 県市議会議長会 定例議員研修会
- 23日 第1回臨時会【本会議】  
議会運営委員会、議員全員協議会、予算常任委員会(全体会)
- 27日 行政視察受入(滋賀県草津市)
- 30日 議会デジタル化広聴推進委員会
- 31日 県市議会議長会 第3回議長会議  
行政視察受入(石川県加賀市)

### 2月

- 6日 長浜・米原市議会連絡協議会 議員研修会
- 8日 委員会協議会(2常任委員会)
- 9日 全国市議会議長会第230回理事会  
・第114回評議員会合同会議
- 11日 県立米原高等学校生徒会とのワークショップ成果報告会
- 14日 議会運営委員会
- 15日 議員全員協議会、議会デジタル化広聴推進委員会
- 17日 議会運営委員会
- 21日 長浜水道企業団議会定例会
- 22日 第1回定例会【初日】  
議員全員協議会、予算常任委員会(全体会)  
議会だより編集委員会
- 24日 第1回定例会【2日目】代表質問
- 27日 第1回定例会【3日目】一般質問
- 28日 第1回定例会【4日目】一般質問

### 3月

- 1日 総務産業建設常任委員会・予算分科会
- 2日 総務産業建設常任委員会・予算分科会
- 3日 総務産業建設常任委員会・予算分科会
- 6日 総務産業建設常任委員会・予算分科会
- 7日 総務産業建設常任委員会・予算分科会
- 8日 健康福祉教育常任委員会・予算分科会
- 9日 健康福祉教育常任委員会・予算分科会
- 10日 健康福祉教育常任委員会・予算分科会
- 16日 湖北地域消防組合議会 定例会
- 20日 予算常任委員会(全体会)
- 22日 議会運営委員会
- 23日 第1回定例会【最終日】  
議員全員協議会、予算常任委員会、  
2常任委員会・予算分科会
- 24日 湖北広域行政事務センター議会 定例会

## 次回 令和5年第2回(6月) 定例会の予定

| 日  | 月                             | 火                             | 水         | 木                                                                | 金                             | 土  |
|----|-------------------------------|-------------------------------|-----------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------|----|
|    | 5<br>開会・<br>予算委員会             | 6                             | 7         | 8<br>一般質問                                                        | 9<br>一般質問                     | 10 |
| 11 | 12<br>健康福祉教育<br>委員会・<br>予算分科会 | 13<br>健康福祉教育<br>委員会・<br>予算分科会 | 14        | 15                                                               | 16<br>総務産業建設<br>委員会・<br>予算分科会 | 17 |
| 18 | 19<br>総務産業建設<br>委員会・<br>予算分科会 | 20                            | 21        | 22                                                               | 23                            | 24 |
| 25 | 26<br>予算委員会                   | 27<br>議会運営<br>委員会             | 28<br>閉会日 | 【開会予定時刻】 開会日:10:00、<br>一般質問・委員会:9:30 閉会日:10:15<br>※日程・時間は、変更の場合有 |                               |    |

### 議会の傍聴

傍聴を希望される方は、当日に米原市役所  
本庁舎5階・議会事務局へお越しください。

### 本会議の中継

開会日、代表・一般質問、閉会日の本会議の様  
様を伊吹山テレビでご覧いただけます。

### 本会議の録画配信

本会議の様様を録画配信しています。  
<http://www.kensakusystem.jp/maibara-vod/>

### 議会だより編集委員会

委員長 鹿取 和幸  
副委員長 山口 久志  
委員 振角 大祐  
委員 藤田 正雄  
委員 中川 雅史  
委員 山本 克巳



### 編集後記

先シーズンのことを思えば、どういいうわけか今シーズンは、市内  
の降雪量が非常に少なかった。備えあれば憂いなしと云うが、私  
は中型の除雪機を購入して万全の体制で待ち構えていたが、見事  
に一度もエンジンがかかることなく片づけることになった。なん  
かモヤモヤする。ただこれで良かったことにしよう。

だが、これだけ降雪量が少ないというところに影響は出  
ると思います。田んぼの水に困ったり、夏場は琵琶湖の水も不足  
したりするでしょう。ところで世界情勢では、ロシアのウクライ  
ナ侵攻から一年以上が経ち、罪のないたくさんの人々が戦争に巻  
き込まれ、自宅を失い水や食料の供給もままならない。またトル  
コ、シリアでも地震により人々の生活は一変しました。われわれ  
の地震大国、日本では将来的に南海トラフ地震の予測がされてい  
ます。

今こそ、そのような有事に備えて避難用具等の点検を行って  
はいかがでしょう。

(山本克巳)

# 「すみたいまちをつくる」ワークショップ



## まちをよりよくするために、 できること

昨年の9月から、米原高校生徒会の皆さんと議会が一緒になって、「まちをよりよくするためには、何ができるのかを考える」取り組みを実施してきました。

11月には提案を練り上げるワークショップ、その後、1・2年生のすべての生徒を対象としたアンケートの実施を経て、本年2月11日に成果報告会を実施しました。

## すみたいまちをつくる提案

～2つの提案、3つの柱、実現するための施策～

### 健康に過ごせ老後までコミュニケーションがとれるまち

- ①世代を問わず交流できる場所をつくる  
▶空き家の活用、子ども会の活性化、芸術・文化の活用など
- ②積極的にみんなとあいさつをする  
▶地域のつながり、環境の変化、防犯へのつながりなど
- ③生涯にわたって、運動・散歩・スポーツをする  
▶習慣化する体操、自由な運動の場、マラソン大会など

### ファーストインパクトで住みたい！まち

- ①古い町並みや自然環境があり公園や図書館が充実しているなど、文化・芸術が盛んなまち  
▶空いた土地の活用、米原フェス、使いやすい自然公園
- ②住民の人柄がよく、夜間の街灯も明るく治安がよい  
▶市民との協力、交番・消防署と連携、施設の活用など
- ③美味しいお店、大型商業施設、テーマパークがあるまち  
▶空き地の活用、補助金交付、宣伝、アクセス向上など

## 取り組みの流れ



## 参加者コメント



要望するだけでは、住みたいまちにはならない。深く考え、自ら動くことが大切であることを強く感じました。

(生徒会長 大橋 来真さん)